

平成30年度

単位施策評価表

所属 22500000
保健福祉部 健康増進課

施策	4102 救急医療体制の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	救急患者の円滑・適切な受入れに向け、医師会との連携・協力のもと、急患センターの充実強化や、夜間救急における病院群輪番制病院の確保を図りながら、救急医療機関の適正利用についての市民への周知等を図ります。							
成果指標	急患センター年間延利用者数…6,500人（現状値7,772人）							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [人]	予定	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	6,500.00	
		実績	7,001.00					
	成果指標2 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	132,251	134,082	134,769	0	0	
		実績	132,044	134,082	134,769	0	0	
内部評価	貢献度	本単位施策は、基本施策で目指す、身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境整備に大きく貢献する。						
	達成状況	一次救急施設である急患センターの運営を行ったほか、輪番制の二次救急救急医療施設を確保し、夜間・休日の急な病気やケガにも対応できる体制が確保できた。						
	課題	とちぎメディカルセンターしもつがが市内唯一の二次救急病院となるため、受け入れ態勢の強化、他の救急医療施設との連携強化が必要となる。						
	取組方針	救急医療体制充実のため、とちぎメディカルセンター、市医師会など関係機関と連携のうえ協議を行う。						
外部評価	急患センターの負担軽減のため、適正な利用数にするといった目標値設定は理解できるが、それを行う上での具体的な対策が、この施策単価表からは見えてこない。達成状況にある輪番制の二次救急医療施設を確保したとあるが、輪番制は、以前からあるように理解している。目標に向け、周知が図られた結果であるならば、そのことを記載すべきでは。 。地域医療の充実という観点から、二次救急医療施設である「とちぎメディカルセンターしもつが」と医師会で、十分な連携強化が図れるようサポートをお願いしたい。							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	272201	急患センター管理運営委託事業費				35,637	100	
	272301	病院群輪番制病院運営等補助事業費				75,217	100	
	272501	除細動器整備事業費				2,417	100	
	273101	小児二次救急医療支援事業費補助金				18,773	100	
	272401	病院群輪番制病院設備整備補助金					0	

単位施策評価表 補表

施策	4102 救急医療体制の充実		
区分	妥当性	妥当	救急医療体制を整える上で必要な事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	無	救急医療体制整備のためコスト削減は困難である。
	受益者負担	適正	受診者には、医療費を負担いただいている。
	上位貢献度	有効	地域医療全体の満足度につながるため貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	救急医療の適正受診を啓発しつつ市民が安心できる医療体制を構築し、成果指標の上昇を目指す。
内部評価	貢献度	医療体制の充実を図るうえで、この事業の貢献度は高い。急患センター事業や病院群輪番制病院等の充実を図り、市民満足度の向上を目指す。	
	達成状況	急患センターの利用者は、目標値を上回った。このことは、一次救急の診療所として市民に浸透しているとともに救急医療に大きく貢献していると言える。二次救急の負担軽減に大きく寄与するとともに一定の効果があつた。	
	課題	時間外の救急医療の適正受診を啓発し、かかりつけ医の普及促進を図る。 急患センターの運営を行っていただいている市医師会会員の高齢化。	
	取組方針	医師会や関係機関と連携を図り、かかりつけ医の普及に努めるとともに救急医療の充実を図る。	